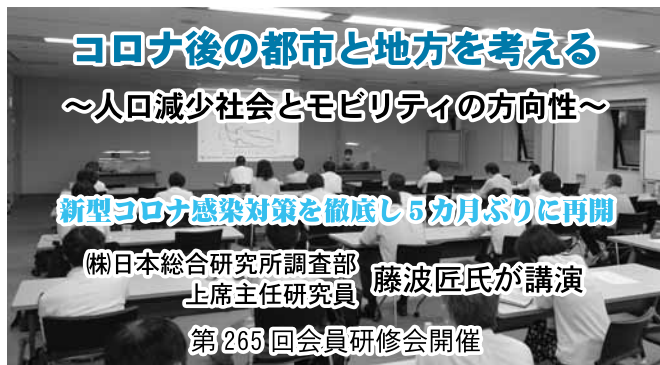




日 本自動車会議所は7月28日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ会議室」で第265回会員研修会を開催し、(株)日本総合研究所調査部上席主任研究員の藤波匠氏が、「コロナ後の都市と地方を考える～人口減少社会とモビリティの方向性～」と題して講演した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会員研修会の開催は2月から控えていたが、感染対策を徹底することで5カ月ぶりに再開できる運びとなった。会場では全員（講師・来場者・スタッフ）のマスク着用やパーティーションの設置、座席の間隔拡大、換気経路の確保など感染予防

措置を徹底した上、定員も制限して開催した。参加者は約30人。

講演で藤波氏は、アフターコロナでは企業の人手不足が深刻になる点などに触れながら、若者の雇用をはじめとする地方の産業強化の必要性を指摘した。

個別に運営・利用されている鉄道やバス、タクシーなど公共交通の利便性をIT活用で高めるMaaS（サービスとしての移動）については、「高齢化が進む社会を根底から変える可能性がある」と強調。全国各地の地域活性化につながる役割を果たすと期待を示した。

オリジナルトートバッグを制作

交通安全啓発活動のノベルティグッズとして活用

東京デザイン専門学校の佐藤莉菜さんがデザイン

日本自動車会議所はこのほど、交通安全啓発活動のノベルティグッズとして活用するオリジナルトートバッグを制作した。デザインしたのは、東京デザイン専門学校の佐藤莉菜さん。当会議所では、同校で教鞭を執っていたこともある当会議所アドバイザーの戸田吉彦・日本美術アカデミー理事の仲介により、同校の学生を対象にデザインコンペを実施し、応募作品の中から佐藤さんの作品が選ばれた。「シンプルで子どもからお年寄りまで親しみやすいデザイン」が評



価された。

佐藤さんは、『『愛の溢れるクルマ生活』をコンセプトに制作しました。幅広い年齢層をターゲットにした、親しみやすい手書きのイラストにし、紙に書いたような雰囲気になりました。トートバッグとして、シンプルかつ可愛らしいものにし、使いやすさが一番に考えました」と語っている。当会議所では、東京・新宿などで毎年開催している「交通安全。アクション」をはじめ交通安全啓発イベントなどで参加者に配布することになっている。

第46回通常総会を书面審議で開催

令和2年度事業計画・予算など承認

東京都自動車会議所

東 京都自動車会議所は第46回通常総会を书面審議・表決による“みなし総会”の形で開催、4つの議案が原案通り承認された。みなし開催日は6月10日。総会を控え、折からのコロナ禍で、会員総数46社・団体のうち32社・団体の代表者が欠席を表明するとともに、議長に表決を一任する委任状を

提出。当初、出席予定だった残りの企業・団体からも総会が近づくにつれ、感染リスクを懸念する声が高まっていた。

全員一致で承認されたのは「令和元年度事業報告」「同収支決算報告」「令和2年度事業計画並びに収支予算」「任期満了に伴う役員選任」の4議案。このうち令和2年度事業計画では、①自動車関係諸税の軽減②ゼロエミッションビークルの普及促進③交通安全の徹底——を前年度と同様に重点項目と位置づけた。また、会員サービス活動としては、①都議会自民党および都庁関係部署幹部との自動車政策懇談会の開催②自動車業界に関連する情報の収集と提供③日本自動車会議所が主催する会員研修会の周知と参加促進——などに取り組むとした。

また、役員選任では佐藤明専務理事の退任に伴い、原誠事務局長が新たに専務理事に選任された。

[東京都自動車会議所]

サポカー補助金の ポスター・チラシを制作

経済産業省、7月から周知活動を展開

経済産業省は先ごろ、3月から申請受付が始まった「安全運転サポート車普及促進事業費補助金」(以下、サポカー補助金)のポスターとチラシを制作し、7月から周知活動を展開している。

「高齢運転者の交通安全対策は、政府全体の喫緊の課題である」とする同省では、重点政策の一つとしてサポカーの普及・周知活動に取り組んでおり、その一環として制作した。内容としては、サポカー補助金に加え、ドライバーがサポカー機能の理解を深めることができるものとなっている。

ポスター・チラシでは、システムが歩行者を検知して、対歩行者衝突被害軽減ブレーキが作動する一連の流れを分かりやすくマンガで説明。チラシ裏面では、サポカー補助金の対象や金額、申請から交付の流れなどを解説している。同省では「販売活動、広報活動において、サポカー補助金についてご説明



される際には、ポスター・チラシを活用いただきたい」としており、関係団体や販売店、メーカーなどにも配布しているほか、同省のサポカー・ポータルサイトからもデータをダウンロードして利用できる。

詳細は「サポカー補助金」で検索してほしいとしている。

訃 報

ダイハツ工業元社長

(当会議所会員元代表者)

山田 隆哉氏

ダイハツ工業元会長の山田隆哉氏が6月2日、逝去された。78歳だった。山田氏はトヨタ自動車取締役を経て、2000年6月ダイハツ工業社長に就任。2005年6月に同社を退任された後は、2006年1月のジェイテクト発足に尽力され、2009年6月までジェイテクト会長を務められた。



日本自動車整備振興会連合会会長

全国軽自動車協会連合会会長

ダイハツ自動車販売協会会長

(当会議所元常任理事)

坪内 協致氏

日本自動車整備振興会連合会会長(2006.5～2014.5)、全国軽自動車協会連合会会長(2001.5～2005.5)、ダイハツ自動車販売協会会長(1995.1～2009.1)をはじめ当会議所常任理事(2006.6～2010.5)など数多くの要職を務められた愛知ダイハツ会長の坪内協致氏が7月24日、逝去された。84歳だった。坪内氏は、愛知県交通安全協会会長など地元愛知県の要職も多数務められるなど、愛知県と自動車産業の発展に多大な貢献をされた。



グリーンキャブ会長

(当会議所会員元代表者)

高野 将弘氏

グリーンキャブ会長の高野将弘氏が7月28日、逝去された。99歳だった。高野氏は1952年に東京・神田で同社を創業し、東京都を拠点とするハイヤー・タクシー、貸切バスを運行するグループ企業を築かれた。